



## < 肛門外科 >

### 概要

“こう門科”から“肛門外科”と標榜変更で1年が経過したが、診療内容に特に変わったことはなく、設置から16年継続して患者様を診させていただいている。肛門疾患の中で、内痔核に対して「ALTA 治療:硬化療法」が広く広告されマスコミやHPなどで調べられる患者様も多く、診療・治療に関する新たな戦略が確立しつつある。当院でも「ALTA 療法」を入院・外来での処置治療として患者様に対応するようにはなった。ただ、その適応には制限があり、よくその治療と疾病状況を説明し出来るだけ入院での施行としている。年々肛門疾患の診療・治療、また肛門疾患にとどまらず直腸や大腸の病気に関する他医からの紹介も含め診察や治療に来られる患者様が増えてきている。一般的な疾病であるが、専門性を必要とした治療においてはやはり当院を受診され治療を希望される患者様も多い。セカンドオピニオンを目的とした受診も多くみられている。私どもも患者様が気軽に受診できるような対応・環境整備、特にプライバシーの面から診察においても患者様に不自由・不快な思いを持たれないように努力している。外科治療には侵襲が多少なりとも伴い、また合併症の危険も有するため、開設当初から保存的治療を主とし、患者様の自覚症状の改善の度合いによって手術適応を決めている。外来診察時にビデオシステムを用い、患者様と一緒に肛門を観察することで、病状や治療方針の説明への理解が得られ好評である。当科の特徴として、外来処置や生活指導・薬物療法に重きを置いているため、手術数はほとんど同数で推移している。施設の性格上、比較的重症となった症例や合併症を有する患者様の処置が多いが(他の施設で治療後や他施設からの紹介など)、入院時の処置などに対する説明とともに手術における結果にも患者様に安心・満足して頂いていると自負している。

一方、腹部症状もなかった患者様の中から見出した直腸・大腸腫瘍(癌)(内視鏡的切除や経肛門的切除で治療したのものも含め)症例は毎年多く、肛門疾患が主訴であっても安易な診断や未検査での観察は厳に慎むべきであり、この方針で検査の必要性をよく説明し検査を受けていただいた結果、早期での処置が可能となっているのは今までと同様である。悪性腫瘍でも早期に発見でき、大腸内視鏡を活用して病気の程度を診断し手術適応を決定することで、より患者様に優しい腹腔鏡を利用した手術を行ってきた。より進歩的(研究的)な術式については、当院が臨床最前線に位置することから、多くの知見がそろってから導入と考え、患者様には情報を提供しながら他院への紹介も厭わず行っている。近年若い方々から増加傾向にある潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患は、新しい内科治療により手術症例は減ってはいるが、相変わらず薬剤抵抗症例があるため、内科とタイアップして外科治療・診療にあたっている。

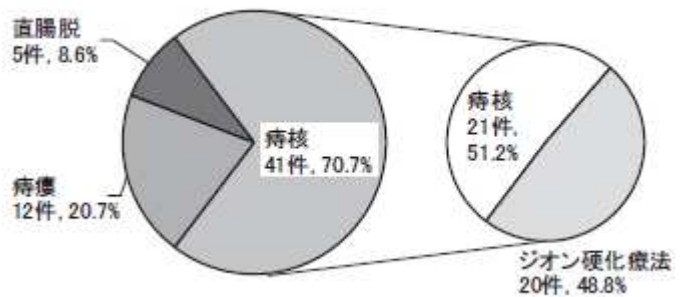
人工肛門を有した患者様の生活を支援する目的で“ストーマ外来”を併設し、こちらも15年が経過した。予約ではあるが多くの患者様に利用していただいている。豊橋市(行政)と豊橋市医師会が連携して“豊橋ストーマ・創傷処置連絡協議会”の活動に積極的に関与し、近隣の医療施設や患者様と関連を持ち地域医療の一翼を担う。

(柴田 佳久)

(1) 入院患者手術数	(件)
手術名	件数
① 痔核	41
② 痔瘻	12
③ 裂肛・肛門狭窄	0
④ 直腸脱	5
計	58

※痔核のうちジオン硬化療法は20件

入院患者手術件数 58件



(2) 外来患者処置数 23件  
(外来・病棟ベッドサイドを含む)

## 業績

- 学会・研究会発表
- 座長
- 論文

### 学会・研究会発表

1. 愛知県で多施設・多職種が取り組み始めた化学療法  
柴田佳久  
第8回東三河消化器癌治療セミナー(豊橋)2011.3.15
2. 患者栄養評価時における身体測定評価のピットフォールー身体計測項目の評価と  
方法に対する教育の継続  
柴田佳久  
第 26 回日本静脈経腸栄養学会総会(名古屋)2011.2.17～18
3. パネルディスカッションNST加算の展望と問題点  
柴田佳久  
第 26 回日本静脈経腸栄養学会総会(名古屋)2011.2.17～18
4. Efficacy of perioperative immunonutrition support with immunomodulating nutrients for  
postoperative infectionrelated complications such as surgical siteinfection in elective  
gastrointesitinal cancer suegery  
柴田佳久  
2011ASCO annual meeting(第 47 回)(シカゴ)2011.6.3～7
5. 胃癌患者に対する周術期に免疫強化食品を投与することで術後経過に及ぼす影響  
柴田佳久、平松和洋、吉原 基、山田英貴、夏目誠治、加藤健宏、駒屋憲一、  
高橋大五郎、山田美保子、石井健太、清板和昭、加藤岳人  
第 111 回日本外科学会総会(東京)2011.5.26～28
6. 大腸癌手術時の腸管内細菌叢と術中吻合操作による腹腔内細菌散布の状況  
柴田佳久、平松和洋、吉原 基、山田英貴、夏目誠治、加藤健宏、駒屋憲一、  
高橋大五郎、山田美保子、石井健太、清板和昭、加藤岳人  
第 66 回日本消化器外科学会総会(名古屋)2011.7.13～15

7. 直腸癌手術操作直後と腹腔内洗浄時腹腔内および閉鎖時創の細菌の状況  
柴田佳久、平松和洋、吉原 基、山田英貴、夏目誠治、加藤健宏、駒屋憲一、  
高橋大五郎、山田美保子、石井健太、清板和昭、加藤岳人  
第 73 回日本臨床外科学会総会(東京)2011.11.17～19

## 座長

1. 総合討論  
柴田佳久  
第9回東三河地域連携栄養フォーラム(豊橋)2011.2.13
2. 大腸セッション  
柴田佳久  
第 279 回東海外科学会(名古屋)2011.4.25
3. 大腸セッション  
柴田佳久  
第 280 回東海外科学(津)2011.10.10
4. 栄養管理8  
柴田佳久  
第 26 回日本静脈経腸栄養学会総会(名古屋)2011.2.17～18
5. 特別講演「知って得するいろいろ管理のエッセンス」  
柴田佳久  
第 13 回豊橋ストーマ創傷処置連絡協議会セミナー(豊橋)2011.5.14
6. 総合討論  
柴田佳久  
第 14 回豊橋ストーマ創傷処置連絡協議会セミナー(豊橋)2011.12.10
7. 東日本大震災被災地医療の経験  
柴田佳久  
第 12 回三河重症疾患研究会(豊橋)2011.7.9
8. 愛知県の防災体制－災害対策本部は何をするのか  
柴田佳久  
第 12 回三河重症疾患研究会(豊橋)2011.7.9

9. 総合討論

柴田佳久

第 10 回東三河地域連携栄養フォーラム(豊橋) 2011.10.1

論文

1. 消化器外科手術における術前・術後を通じた炎症指標の検討

柴田佳久

外科 73:406-409,2011

2. 臨床検査技師の栄養サポートチーム(NST)活動について

夏目篤二、田中規雄、柴田佳久

全自病協雑誌 50:112-119,2011

3. クローン病に併発した colitic cancer の1例

柴田佳久

日本大腸肛門病学会雑誌 64:516-521,2011

